

## 愛媛県環境影響評価審査会の会議結果

- 1 会議の名称 愛媛県環境影響評価審査会
- 2 開催日時 平成 27 年 10 月 23 日（金） 10：00～12：00
- 3 開催場所 県庁第 2 別館 5 階第 6 会議室
- 4 出席者 委員 8 名、事務局 7 名、事業者 5 名
- 5 審議事項（議題）  
南愛媛第二風力発電事業（仮称）に係る環境影響評価方法書について
- 6 審議内容（全部公開：傍聴者 2 名）

### <結論>

前回（8 月 26 日）及び今回の審議を踏まえ、審査会意見案を取りまとめ、委員各位に諮った上で、審査会意見として答申することとなった。

### <委員からの主な意見等>

#### （武岡委員）

①資料 14 頁の愛南町長から御荘湾での影響評価が必要という意見に対し、回答は工事中の濁りに関するものだけで、工事後の山からのミネラル分減少等に係る内容が示されていない。

②水の濁りの調査予測手法については、方法書 262 頁に示されているが、予測の基本的な手法について、具体内容を教えてほしい。

③工事で森林を伐採した際に、近年、頻発する集中豪雨があった場合、土砂災害が発生するのではないかと懸念する。何等かの考慮が必要ではないか。

#### （電源開発(株)）

①については、海域への栄養塩等の変化については、濁水中の粒子分の変化になるので、濁水の程度の変化の予測により概ね評価できると考える。

②の手法については、工事で生じる裸地の面積を求め、一定の裸地面積から発生する濁水量を設定し、それを乗じて予測することとしている。

③の豪雨対策については、工事施工計画において安定性等を含めて検討する予定である。

#### （武岡委員）

①の意見については、工事後に森林が減少すると、栄養塩が減って影響するのではないかという主旨だと思うが、回答になっていないのではないか。

#### （電源開発(株)）

樹林の環境変化による影響評価については、事例があまりないと思うので、他事例の確認を含めて、持ち帰り検討したい。

#### （佐藤委員）

水質調査地点として方法書 263 頁に示しているが、この選定根拠は何か。御荘湾及び風車設置箇所から離れているのではないかと思う。

#### （電源開発(株)）

予測地点の設定については、基本的に工事用道路等からの水が流下する沢を設定している。あまり上流部では水が流れていない。

#### （貴田委員）

・資料 12 頁の規模設定に関して、A～C 案の選定については、事業収支に係る財政面と環境影響等を勘案して決定すると思うが、その方法を教えてほしい。

- ・資料 13 頁の C 案に関する回答で、「他の案とくらべて影響が大きく異ならないか確認する」とあるが、中立的な意味で「比較検討する」旨に修正されたい。
- ・同じく 13 頁の宇和島市長からの稼働中騒音に係る意見に対する回答で、「その時点での最新の知見をもとに配慮する」とあるが、最新の知見とは何か、また C 案は事例が少ないため、このようなことが可能なのか。
- ・風車本体からの騒音の大きさは、各メーカーから出されている値を用いると思うが、このメーカーの示す値の信頼性はどうか。また値に幅があるなら、その幅も示して予測等してほしい。
- ・風車の騒音は、風速によって大きくなると思われるが、メーカー値がどのような条件下で得られたものか示されたい。それにより過小や過大な評価でないか確認されたい。
- ・資料 14 頁の設置済風車の騒音について、強風時の測定も行うとの回答であるので、そのデータ示してほしい。
- ・資料 17 頁の宇和島市長からの方法書説明会の周知に係る意見について、周辺住民は興味を持たれているのだから、この意見のとおり十分に配慮すべきと考える。
- ・資料 21 頁の 7 番に対する回答について、労働の場についても評価するという旨、明記してほしい。
- ・資料 22 頁の 14 番に対する回答に関して、この想定降雨量は 30 年最大降雨量なのか。先般発生した豪雨の場合、50 年に 1 度の降雨と言われている。これらの現況を踏まえ、安全性を見込んだ現実的な降雨量で検討されたい。
- ・資料 22 頁の 15 番に対する回答に関して、設置する沈砂池では、薬剤添加等はしないのか。薬剤添加はしないと思うが、そうすると豪雨を考慮して沈砂池の規模は大きいものが必要と思われる。
- ・資料 24 頁の 21 番の意見に、10 月半ばのサンバ渡り時期に合わせ調査が必要とされているが、実際に調査するのか。
- ・資料 26 頁の 26 番に対する回答で、著作権に配慮してコピー等を断ったとあるが、どれくらい著作権に引かかるのか。全くダメというのはいかがなものか。問題になる部分は除く等して、全体的には提供する方向とすべきではないか。
- ・資料 28 頁に風車稼働中の CO<sub>2</sub> 削減効果を示されているが、設置工事中には CO<sub>2</sub> は排出するはずであり、CO<sub>2</sub> 削減の定義は、事業全体を考慮すべきと思われる。
- ・同じく 28 頁に関連して、A、B、C 案における風車のメンテナンスの頻度、年間稼働日数等を示されたい。

#### (高橋会長)

貴田委員から、頁を追って複数の意見、質問を頂いた。今回、A B C の 3 案、複数案あることに関する質問や、宇和島市長及び愛南町長からの意見に関するものである。アセス制度は事業計画について住民や専門家から広く意見を募って、より良いものに仕上げていくというもの。様々な懸念を払拭しない限り、地元の受け入れは難しいと考える。貴田委員から意見があったが、出せないデータがあまりに多いと理解は得られないと考える。もっとも、今は方法書の段階であるので、次の準備書ではこれらの意見を反映してより詳しいものにしてもらう予定である。

貴田委員の意見に対し、この場でできるものがあれば願います。

#### (電源開発(株))

この場で可能なものをお答えする。3 案からどう絞り込むかという件は、まず C 案を選ぶときに他の案と大きな違いが無いかということ点について、資料 13 頁の回答にも示すとおり、風車から発生する騒音のパワーレベルからの予測、鳥類のバードストライクについて衝突確率の求め方が環境省から出ているので、これらを用いて各案の比較、検討を行うこととしている。これらを踏まえて、最終的な決定をしたいと考え

ている。

次にアセスの進め方についてであるが、ご指摘のとおり住民に対して真摯に対応して、説明会でもキチンと分かりやすく説明を行い、ご意見も頂くというスタンスで今後も進めたいと考える。

**(曾我部委員)**

資料 14 頁の南愛媛発電所の騒音に係る回答では、建設前の予測では変化ないという結果であった。後段に ON/OFF 調査は実施したが結果は示されていないが、実際に騒音に変化がないということか。

**(電源開発(株))**

弱風時期に ON/OFF 調査を実施したため、予測値と変化がない結果であった。

**(曾我部委員)**

資料 21～22 頁の 6 番で、問題があるレベルが予測され、環境保全措置ができない場合、配慮書での事業者見解「本業は建設しないことになる」と同様にすべき旨の意見であるが、これに対する見解はどうか。

**(電源開発(株))**

環境影響に大きな影響があると判断される評価結果であれば、事業実施できないと考えるが、そうならないように計画を立てていきたいと考える。

**(高橋会長)**

騒音については、個人差があり、また湿度、風向等でも異なる、様々な状況で変わることから十分な検討等が必要と考える。それを踏まえ地元説明をお願いしたい。

なお、各種データを取られており、データで議論するべきと思うが、示されているデータ量が少ないと思われるので、住民理解を得るためにも、次の準備書の段階では十分配慮されたい。

**(武岡委員)**

資料 30 頁の航空障害灯に対する意見は、本第二事業により、どのような影響があるか評価されたいという主旨であるが、回答は法律で決まっているから我慢されたいという内容であり、意見に対する回答になっていないと思う。

**(高橋会長)**

具体的な事例を用いて説明するなど、極力、質問に対して分かりやすい丁寧な回答を用意してほしい。

**(柿原委員)**

- ・この地域には貴重な植物が存在するということであるが、その地域を回避することは当然であるが、作業道の整備等で地形や環境が変化することが考えられ、みず道や日射量等が変わることが想定される。専門家と相談しながら施工してほしい。
- ・複数の事業計画がある中で、複合影響を考えながら進めると回答に示されているが、具体的に複数の相乗影響を示すことが可能なのか。
- ・どういう項目が数値化でき、どういうことが出来ないのかを区別して説明してほしい。

**(電源開発(株))**

騒音は基本的に数値化できる。複合影響も単体事業ならどの位の数字になって、周りも含めればどういう数字になるかという、比較の様なものは出すことができるので、準備書の段階でどのように示すかということは検討して参りたい。

**(西浦委員)**

次の段階で風車の機種が決定されると思うが、これにより風車ヤード等の地形案も決定されると考えられるので、残土の発生量や地形等の改変内容等を示してほしい。

**(曾我部委員)**

資料 28 頁の 34 番に対する回答の後半に、風力発電により火力発電分を減らすことでCO<sub>2</sub>削減になる旨示されているが、風力設置で山林を伐採することによるCO<sub>2</sub>削減量の減少を考慮されていないと思うので、準備書の段階では考慮してほしい。

**(高橋会長)**

○今回の方法書については

- ・山林を切り開くことによる海への影響を説明されていないところがあるので、河川部を含めて明らかにされたい。
- ・方法書のA～C案を、今後どう絞り込むのかその過程、考え方を明確にされたい
- ・複合影響に関して、周辺の事業計画を十分に考慮して、影響評価を実施する必要があること
- ・配慮書からの総出力上昇の経緯等を含めて、住民に対し分かりやすく説明すること
- ・またCO<sub>2</sub>削減効果についても数値化して示すこと
- ・住民の方も自然環境にやさしい風力発電はいいと思われているが、様々な疑念がある状況であり、これを払拭するためにも、極力データを開示して、分かりやすく説明する必要があると考えられる

等がポイントと考えられるので、これらを含めてきちんと取りまとめ、各委員へお示しした上で、知事へ答申したいので、よろしく願います。